

# 持続可能な町を目指して

Vol. 1

## 人口減少について考えよう！

### ◆背景

急速な人口減少・超高齢化により、社会経済が縮小・減退する中、各種産業における担い手不足、地域の伝統行事や街中・農村景観の維持が困難になるなど住民生活にさまざまな影響が見え始めています。

さらに令和元年東日本台風などの大規模な自然災害や新型コロナウイルス感染症の発生などから、住民の生活を守り、基礎自治体として持続、発展し続けるためには、地域の特色や地域資源を生かし、住民に身近な施策を幅広く盛り込んだ人口減少対策に特化した計画が必要不可欠です。



### ◆町の人口の推移

小野町の人口は、昭和30年の国勢調査の17,441人をピークに減少を続けています。

平成7年の国勢調査では13,306人となっていました。平成22年の国勢調査では11,202人と15年間で2,000人以上減少しています。

さらに平成30年7月1日現在の人口は9,999人、令和2年3月1日現在では9,636人(福島県現住人口調査)となっています。



### ◆人口減少が町の将来に与える影響

【生活】  
店舗閉店による買い物困難、空き家の増加など

【社会保障】  
社会保障制度の維持困難など

【産業】  
事業規模の縮小や就業人口の減少など

【地域】  
伝統的な行事やイベントの縮小・廃止による地域の活力の低下など

### ◆町の令和42年の人口目標

平成27年国勢調査を基準とした推計による令和42年の人口4,993人より約1,500人以上多い6,554人の確保を指します。

